

事業所名 重症心身障がい児童型デイサービスみいすけっと 支援プログラム（参考様式） 作成日 2025年 3月 14日

法人（事業所）理念	子どもたちとのコミュニケーションを大切にし、心身の成長を促しながら日常動作・健康管理をサポートすることで、子どもにとって安全でリラックスできる心地よい環境を提供する。			
支援方針	日々コミュニケーションを多く図り、環境に応じた心と身体の機能を整え、個々に合わせて遊びながらの関節運動や筋力強化、床上動作、座位や立位の保持、歩行、トイレトレーニング、入浴などADLの向上につながる各種練習や一体となったプログラムの提供を行う。看護師やセラピストの他にも経験豊富なスタッフを配置し、身体の発育に応じた方法について検討を重ねながら、家庭でも再現しやすい介助方法などについても伝えていく。			
営業時間	平日 11:00～17:00 土曜日・長期休暇 10:00～16:00	送迎実施の有無	あり	
支 援 内 容				
本人支援	健康・生活	心身の健康や生活に関する領域として、食事や排泄などの基本的な生活を看護師による健康管理の元で支援する。また、最新の入浴設備を完備する事で熱いお湯が苦手な方も安心して入浴でき、丁寧なアセスメントで個々の身体状況にあった入浴方法を行う。血行促進・清潔保持・感染症に強い身体づくりを支援する。		
	運動・感覚	運動機能や感覚に関する領域として、制作活動や感覚/運動のカリキュラムなどを通じて楽しみながら様々な感覚に働きかけ、運動機能や指先の感覚等の成長・発育を促す。また、理学療法士の評価や訓練を通して日常動作やポジショニング、ストレッチ等に取り組めるよう支援する。		
	認知・行動	認知と行動に関する領域として、制作活動のカリキュラムなどを通じて季節の理解や形の大きさ、重さ、色の違い等の理解を促す。また、スタッフとのやり取りを通じて必要な情報を受け取り、自分で選択し行動につなげる認知過程の発達を支援する。		
	言語 コミュニケーション	言語・コミュニケーションの獲得に関する領域として、カリキュラムやスタッフとのやり取りの中で発声や指差し・視線などを用いて自分の意思を伝達する力を養えるよう支援する。また、本人の意思や気持ちを汲み取り代弁することで、意思決定の経験を重ねる。		
	人間関係 社会性	人とのかかわりに関する領域として、ソーシャルスキルトレーニングのカリキュラムなどを通じてスタッフや子ども同士の関りを設け、社会性の発達を支援する。また、感覚/運動のカリキュラムなどでもリズムに乗ったり動きを真似する・目で追うことなどで社会性や対人関係の芽生えを支援する。		
家族支援	ご家族の息抜きの時間を作り、少しでも買い物や家事、他のご兄弟やご家族の為の時間の確保に貢献することで育児の負担軽減をする。また事業所内での様子を共有し、ご家庭内での様子も伺いながら、困りごとの改善を支援する。	移行支援	入園や入学等の環境変化に際して本人がスムーズに新しい環境へ移行していくよう、関係機関との連携、情報提供を行うとともに、ご家族への助言等の支援も行う。	
地域支援・地域連携	医療機関・教育機関・他事業所と支援方針などを共有し密な連携を行うことで、安定した心身の健康状態の維持改善へ繋げる。	職員の質の向上	研修を定期的に実施し、事例検討を行なながら支援の質の向上を行う。また、内部でも安全管理や緊急時対応の研修もを行い、安定した事業所運営を図る。	
主な行事等	キッズワーク(制作活動)、お誕生日会、季節のイベント(ひな祭り、入学卒業お祝い、お花見、クリスマス会等)			